

# くすりのしおり

内服剤

2022年06月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 製品名：トルバプタン OD 錠 7.5mg 「TE」

主成分：トルバプタン (Tolvaptan)

剤形：薄い青色の割線入り錠剤、長径 7.8mm、短径 4.4mm、厚さ 3.1mm

シート記載など：（表）トルバプタン OD、7.5mg 「TE」、利尿薬  
（裏）トルバプタン OD 「TE」、7.5mg



## この薬の作用と効果について

この薬は腎臓に作用して尿量を増やし、体内の余分な水分を排泄することにより、体のむくみをとります。通常、他の利尿剤で治療しても肝硬変における体のむくみに対する効果が不十分な場合に、他の利尿剤に併用して用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。口渇を感じない、水分摂取困難、無尿、肝性脳症、高ナトリウム血症がある。
- ・妊娠、妊娠している可能性がある、または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回1錠（主成分として7.5mg）を1日1回服用します。夜間の排尿を避けるため、午前中に飲んでください。症状により、半量（3.75mg）での服用開始または減量されることがあります。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は水と一緒になくても飲めるタイプの薬です。舌の上で唾液を含ませ、舌で軽くつぶしてから、唾液と一緒に飲んでください。普通の薬と同じように、水またはぬるま湯で飲むこともできます。ただし、寝たままの状態では水なしで服用しないでください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が近い場合は、1回飛ばして次の通常の服用時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・口渇を感じた場合は、脱水の可能性がありますので適量の水分を補給してください。ただし水分の取りすぎには注意してください。
- ・この薬を飲みはじめると尿の量も回数も増えますので注意してください。
- ・妊娠する可能性のある女性はこの薬を服用している間は、避妊してください。また、この薬を使用している間に妊娠がわかった場合には、すぐに医師に相談してください。
- ・服用中は、めまいなどがあらわれることがありますので、転倒に注意してください。また、車の運転や高い所での作業、危険をとまなう機械の操作などには十分注意してください。
- ・グレープフルーツジュースは、この薬の作用を強めることがありますので、これらを一緒に飲むことは避けてください。
- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬の作用を弱めることがありますので、これらを一緒に飲むことは避けてください。
- ・この薬の服用中は、血清ナトリウム濃度の頻回な血液検査が必要になりますので、医師の指導に従ってください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、頭痛、めまい、口渇、便秘、頻尿、多尿、疲労、多飲症などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身倦怠感、尿量減少、むくみ [腎不全]
- ・局所の痛み、胸の痛み、息苦しい [血栓塞栓症]
- ・精神の混乱と過呼吸、のどの渇きなどの脱水症状、意識がうすれる [高ナトリウム血症]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [急性肝不全、肝機能障害]
- ・立ちくらみ、じんましん、呼吸困難 [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法 その他**

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。